

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	子育て～新たなチャレンジ支援事業																										
法人名	学校法人 松本学園																										
学校名	日本総合教育専門学校																										
代表者	理事長 松本 秀藏	担当者 連絡先	前田 優一 TEL 0968-72-2375																								
<p>1. 事業の概要</p> <p>急速な技術の進歩から、必要とされる能力の変化や、雇用情勢の変化により一時離職していた女性にとって再就職の道は険しいものとなっている。こうした状況下において、再チャレンジを目指す女性のために、</p> <p>①時代が求めるITスキルとビジネススキルを習得するための実践的な講座 ②女性のキャリア・プランニング支援講座</p> <p>を併せて実施することにより、職業選択における企業観や職業観を再認識し、将来にわたってのキャリア形成の認識を促すための支援を、キャリアカウンセリングを取り入れた職業プログラムとして充実させ、女性の再チャレンジ支援をねらいとし、下記のとおり2講座を実施した。</p> <p>◆キャリアアップ講座 幅広い職業への可能性を提示する適正探索ツール「CPS-J」による個人の適正の把握を基にキャリアカウンセラーによるキャリアプランニングを立てる支援プログラムや職務経歴書、キャリアシート、自己PR書等の作成方法、ビジネスマナー、面接演習等の就職に必要な知識の修得を目指し、毎週火曜日・金曜日の①10時から12時30分②10時から16時③その他(内講演会2回、個別カウンセリング2回)に第1期・第2期それぞれ19回実施</p> <p>◆ITスキル講座 一般事務所内において使用されている需要の高いWORD・EXCEL等を使用し、基本的パソコン操作から応用技能までの修得を目指し毎週水曜日の9時30分から12時30分に第1期・第2期それぞれ11回実施。</p> <p>上記のとおり曜日別に予定し両講座の受講が可能となるようにした。 実施期間は、キャリアアップ講座・ITスキル講座の第1期が平成19年9月18日～平成19年11月30日、第2期を平成19年12月4日～平成20年2月27日に実施。 また、講座別の年代別人数は、下記のとおりとなり、子育て中の女性が講座やセミナーを受けやすいように専門職の教員による託児の受け入れを行い、当法人が運営を行っている幼稚園・保育園・子育て支援センターでの育児相談や仕事と育児の両立など幅広く支援・フォローアップすることを可能とした。</p> <p><受講人数(年代別)></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">キャリアアップ講座</th> <th colspan="2">ITスキル講座</th> </tr> <tr> <td>20歳代</td> <td>8人(早期就業のため内3名途中退校)</td> <td>20歳代</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>30歳代</td> <td>7人</td> <td>30歳代</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>40歳代</td> <td>6人</td> <td>40歳代</td> <td>9人(早期就業のため内1名途中退校)</td> </tr> <tr> <td>60歳代</td> <td>1人</td> <td>60歳代</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>22人</td> <td>計</td> <td>41人</td> </tr> </table>				キャリアアップ講座		ITスキル講座		20歳代	8人(早期就業のため内3名途中退校)	20歳代	6人	30歳代	7人	30歳代	25人	40歳代	6人	40歳代	9人(早期就業のため内1名途中退校)	60歳代	1人	60歳代	1人	計	22人	計	41人
キャリアアップ講座		ITスキル講座																									
20歳代	8人(早期就業のため内3名途中退校)	20歳代	6人																								
30歳代	7人	30歳代	25人																								
40歳代	6人	40歳代	9人(早期就業のため内1名途中退校)																								
60歳代	1人	60歳代	1人																								
計	22人	計	41人																								

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

雇用環境が厳しさを増し、情報通信技術や関連機器の導入等のIT化が進む中、就職に結びつく効果的な講座実施をするためには、IT化に対応した職業能力を身につけ、職業に関する情報を体系的に提供するとともに、これまでに形成されたキャリアを基に、どのような能力を伸ばせば就職につながりやすいのかを明らかにする必要性があり、職業人の育成を実践的な人材育成の場として実施体制を整え、重要事項であるキャリア意識の育成に重きをおいた教育の実践を可能とした。

上記の結果、全体のおよそ8割の人が再就職の進路を見だし、(講座受講中に再就職の応募へと行動に移した人・専門知識の習得へと行動を移した人)4割程度の方が再就職へとつながった。

②事業により得られた成果

IT講座ではWord・Excelの基本操作から応用技能を習得し、全くパソコン操作をしたことのない初心者の方でも、再就職に必要とされるパソコン基本操作を習得し、ビジネス文書等の作成や就職活動に必要なキャリアインベントリーシートや行動計画表、職務経歴書等の作成方法を習得することができた。

キャリアアップ講座では家事や子育てに追われて忘れかけていた職業人としての意識について再度意識づけを徹底し、職場のルールについての再認識を図り、二回の個別キャリアカウンセリングの実施により職業選択の支援を行い、将来のキャリア形成につながる職業選択ができた。就職に向けた具体的な支援とし、面接のロールプレイを実施し、面接官の立場に立つことを経験し、自己をより客観的に把握することができ、人前で実演することによって自信をつけることができた。

また他人の言動や価値観に触れることで、新鮮な刺激となり、偏りがちな自己の思考の転換を図ることができ、受講生同士の良い情報交換の場となることができた。

③今後の活用

◆カリキュラムの設定

自己分析ワークなどにより個人の価値観(人生観・職業観)を見だし、職業選択についての支柱を確認・認識し、将来のライフスタイルを具体的に描くことによって、女性の再就職のニーズはさまざまである。今後は各自のニーズに対応したカリキュラムを選択できるようにしていくとより効果的であると思われる。

◆資格取得

パソコン基本操作の習得によって、検定試験等による資格取得に結びつけることで、働くことへの意識を高めると同時に、明確な目標ができ、就職活動も自信をもって望むことができる。

④次年度以降における課題・展開

<課題>

◆ITスキル講座では、週1回の講座では不十分で、講座時間数を増やしてほしいという要望が非常に多かった。

◆キャリアアップ講座では、キャリアカウンセラーによる的確なアドバイス・就職に必要な知識の講座等、非常に参考となったという意見を多数いただくことができたが、受講前に「キャリアアップ」という言葉から難かしそうだという不安感を抱かせてしまった。

◆今回、IT講座は募集人員をはるかに上回り、せっかくご応募いただいたが講座が受講できなかった方が多数出てしまった。

<展開>

再就職が厳しくなっている状況下において課題のとおり幅広い年齢層の人々から、こういったセミナーや講座の重要性が叫ばれ、充実した「職業教育」が求められている。

今後、専門学校目的である職業人の育成を、平成19年度の実践としての取り組みにより構築したノウハウをさらに充実させ、教育カリキュラムとして整備し、求める人が求めるときに支援できる仕組みづくりを行い、人生のさまざまな場面において対応できるキャリアの形成の支援機関として職業能力の開発機会の拡大に寄与していきたい。

3. 事業の実施に関する項目

キャリアアップ講座

	開始日	終了日	受講者数
第1期	9月18日	11月30日	9人
第2期	12月4日	2月22日	13人(早期就業のため内3人途中退校)

<カリキュラム>

- オリエンテーション
- なりたい自分像を描いてみよう
- 「自分」を知ろう
- 職業の選択／講演(ロールモデル)
- 職業情報／講演(求められる人材)
- 個別カウンセリング
- ビジネスマナー
- コミュニケーション
- 応募書類の記入方法
- 面接演習
- なりたい自分になるためのヒント
- 行動計画の仕上げ

ITスキル講座

	開始日	終了日	受講者数
第1期	9月19日	11月28日	20人(早期就業のため内1人途中退校)
第2期	12月5日	2月27日	21人

<カリキュラム>

- WindowsXPの基礎知識
- Word入門(基本的な入力操作の学習)
- 文書の入力
- Wordの活用(例題を作成しながらWordの基本的な編集機能を学習)
- Excel入門(Excel2003を使って表計算の学習)
- Excelの活用
- WordとExcelの活用(いろいろなアプリケーションソフトで作成した文章、絵、表、グラフさらには音声やビデオ画像などつなぎ合わせて新たに一つのデータとしてまとめる機能の学習)
- 職務経歴書・自己キャリアイベントリーシート「自己棚卸」・行動計画表の作成

受講者が受講しやすいようにキャリアアップ講座・ITスキル講座を曜日別の実施し、両講座の受講を可能にした。

また専門職の教員による託児の受け入れを行い、子育て中の女性が安心して受講できるようにし、育児相談・仕事と子育ての両立についてなど幅広く支援、フォローアップすることを可能とし、キャリアアップ講座では、ロールモデルによる講演会(「人事担当にきく企業が求める人材とは?」・「家庭と仕事の両立について」)の実施や、しごと情報ネット・職業紹介機関等の紹介を行い、講座日以外でも職業相談室での相談受け入れを行うなど様々な工夫をした。

<受講者の就業状況>

キャリアアップ講座

求職者数	就業者数	就職先分野
14人	8人	サービス業 医療関係 教育関係
計	22人	事務職

ITスキル講座

求職者数	就業者数	就職先分野
26人	15人	サービス業 医療関係 教育関係
計	41人	事務職 製造業